

児童教育学科

～児童教育学科教員が毎回自分の専門に基づいてコラム等をお届けします～

横山悦子（教授）

専門は「国語科学習指導方法論」 大学では「国語科教育法」「日本語と表現」などの授業を担当



「魔女がいちばんほしいもの」を読んだことがありますか。この本は、ズッコケ魔女のエッチちゃんと相棒のねこのジンが巻き起こす大冒険を書いた物語です。さて、エッチちゃんが、人間界でいちばんほしいものとは？

ヒント① 心を持つ人間だけが持つもの

ヒント② 透明な水

ヒント③ がんばった時に出るもの

正解は汗と涙です。汗と涙は心を持つ人間だけが持つ宝物です。一生懸命に努力したり、心が動いたりしたときに流れ出る貴重な水です。

私は、それを伝えたくて書きました。現在 18 巻まで出版されています。「3 歳の孫に読ませたい」とのメッセージをいただき、『魔女えほん』が誕生しました。魔女童話と対になっています。

さて、私は、令和 3 年 3 月までの 38 年間、小学校に勤務していました。大学に着任しようやく 1 年になります。指導する対象が小学生から大学生になりましたが、実は、次のように、全く同じ話をしています。

「あのね、心には『ビッグマン』が眠っているの。ビッグマンの正体は【才能】。やればできる力があるのに、多くの人は、それに気づかずに生涯を閉じてしまう。だから、あきらめずに挑戦してね」。生きるという点において、年齢は関係ありません。



大学では、「国語」「国語科教育法」「日本語と表現」等を教えています。「国語」「国語科教育法」では、物語文を読むだけでなく、起承転結に留意して創作したり、書いた作品を読み合ったりしています。書くためには、「伝えたいことは何か」をはっきりさせる必要があります。そう、主張が大切です。書き手の気持ちを体験することで、容易に要旨がつかめるようになり、読解力は確実に上がってきます。授業は、「読むこと」「書くこと」をバランスよく取り入れるよう留意しています。また、「日本語と表現」では、実生活に必要なことに加え、絵手紙を描いたり俳句を作ったり、生活を豊かにする内容を取り入れています。手描きの作品を鑑賞し合うことでコミュニケーションをとってきました。AIの発達により生活は便利になってきましたが、それらを使う人間が、心を壊されないようにと願っています。

大学では、心に響く授業を模索し展開したいと思っています。